

平成29年4月

平成29年
平成29年

1月～
4月～

3月期
6月期

実績
見通し

中小企業景況調査報告書

岩手県商工会連合会

主要景況項目の動き.....	2
業況天気図	3
全産業の推移	4
製造業の推移	7
建設業の推移	11
小売業の推移	15
サービス業の推移	19
全産業の過去データの推移	23
* 平成15年1月以降	
〔集計資料〕	

D・Iとは

D・Iとは、ディフュージョン・インデックスの略です。これは、企業経営者の景気動向を表す指標として利用されています。

算出方法は、増加（上昇・好転）企業割合から減少（低下・悪化）企業割合を差し引いたものです。

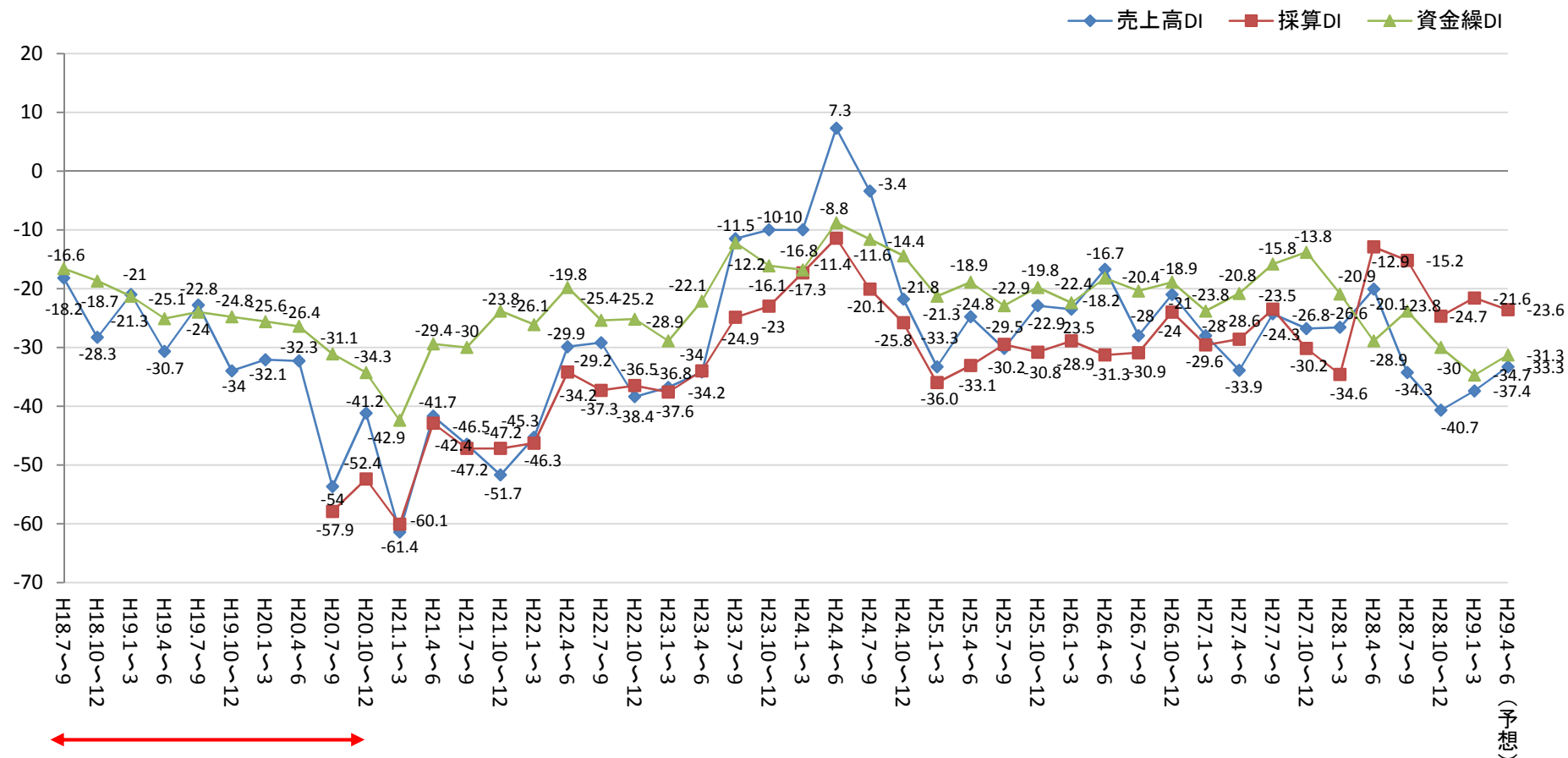
D・Iがプラスなら強気（楽観）、マイナスなら弱気（悲観）、原材料または商品の仕入単価の場合はプラスなら上昇気運、マイナスなら低下気運となります。

プラス、マイナス同数の場合はD・Iはゼロになります。

たとえば、売上高増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合、D・Iは $50 - 20 = 30$ となり、全体として経営者の売上高に対する強気の度合いを表しています。

[岩手県 産業全体]

主要景況項目の動き ー前年同期比ー



採算DIについては全国連にデータなし

業 況 天 気 図

業 種 \ 期 間	平成27年 4～6月	7～9月	10～12月	平成28年 1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	平成29年 1～3月	(見通し) 4～6月
製 造 業	 雨	 薄 曇	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇
建 設 業	 雨	 雨	 曇	 曇	 曇	 曇	 雨	 晴	 曇
小 売 業	 雨	 雨	 雨	 曇	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨
サ ー ビ ス 業	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇	 雨	 雨	 曇

売 上 高 D I	100.0 ～30.1	30.0 ～10.1	10.0 ～△10.0	△10.1 ～△30.0	△30.1 ～△100.0
表 示	 快 晴	 晴	 薄 曇	 曇	 雨

全産業の推移

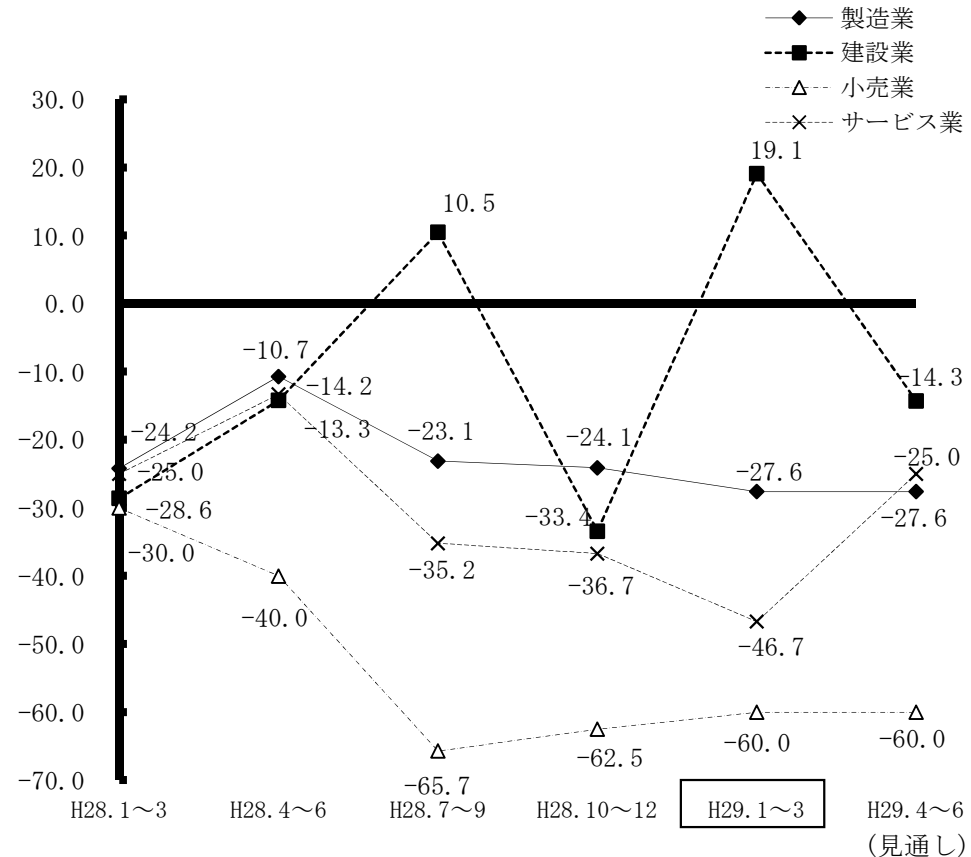
売上高

建設業が大幅に上昇

今期の売上高D・Iは、建設業が52.5ポイント増加し、19.1まで大幅に上昇しました。

また、小売業が2.5ポイント増加の△60.0となり、2期連続して上昇しましたが、製造業が3.5ポイント減少して△27.6に低下、サービス業が10.0ポイント減少の△46.7に低下しました。

来期は、建設業が大幅な低下、製造業及び小売業がほぼ横ばい、サービス業において上昇の見通しとなっています。



※建設業の売上高は完成工事高

全産業の推移

採算

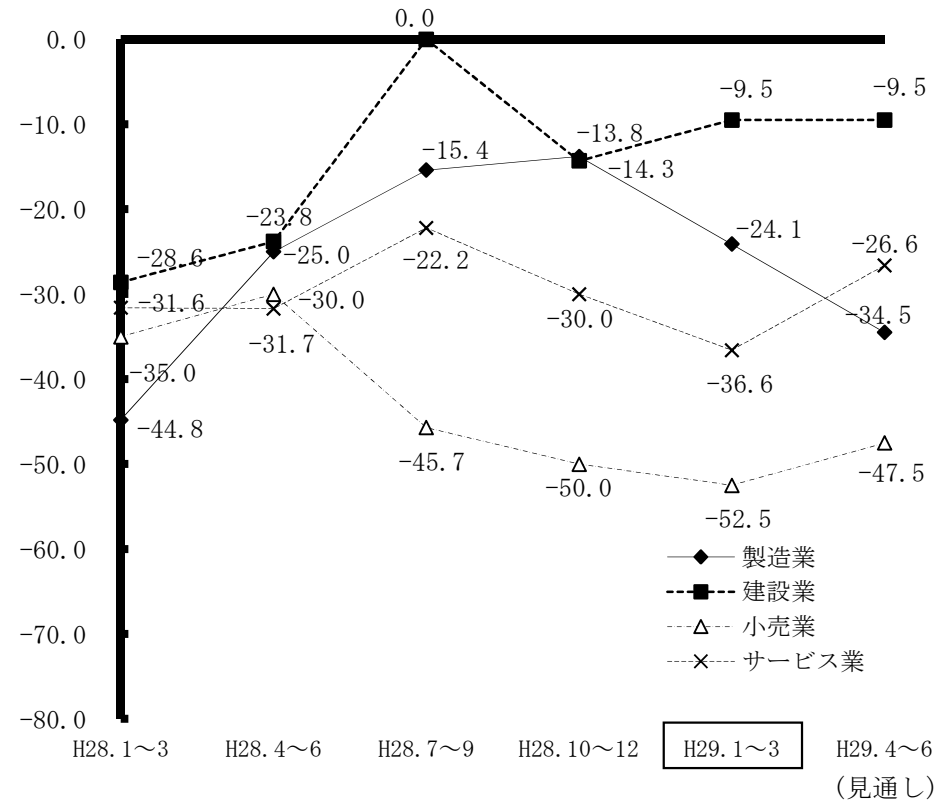
小売業、サービス業の利益率が2期連続悪化

今期の採算D・Iは、建設業が4.8ポイント増加して、△9.5まで回復しました。

他方、製造業が10.3ポイント減少の△24.1、サービス業が6.6ポイント減少の△36.6、小売業が2.5ポイント減少の△52.5となり、建設業以外の業種においては採算D・Iが悪化しています。

来期は、製造業において、大幅な低下が見込まれるものの、建設業では横ばい、サービス業、小売業においては上昇となる見通しです。

※採算は各業種とも経常利益



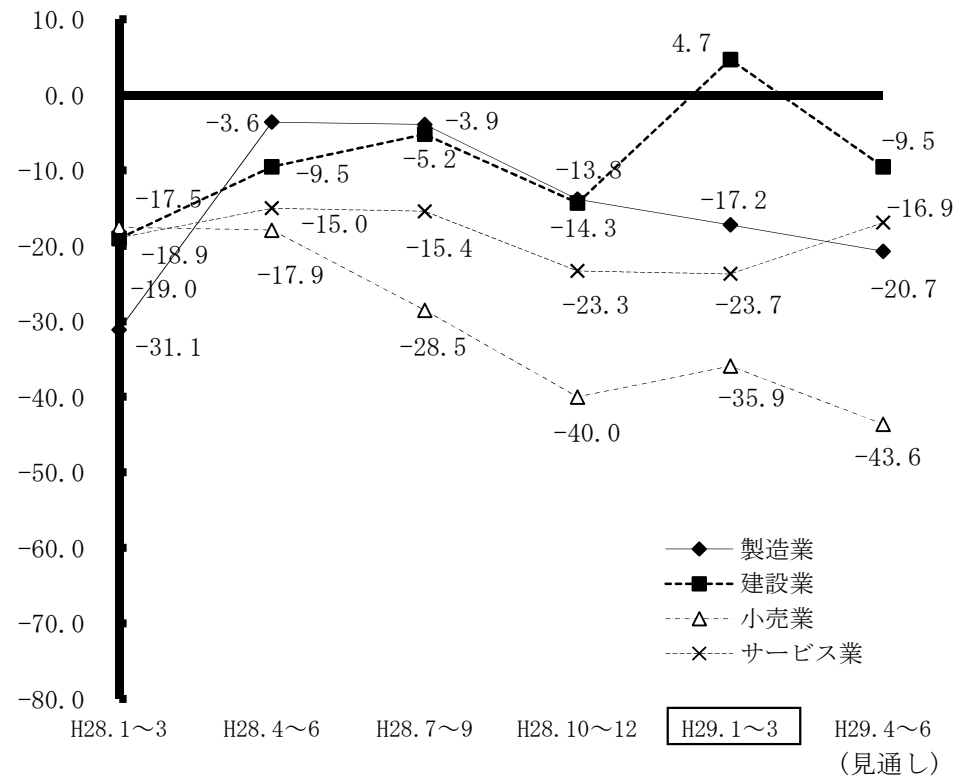
全産業の推移

資金繰り

建設業、小売業において好転

今期の資金繰りD・Iは、建設業において19ポイント増加し、プラス領域の4.7まで好転しました。製造業が、3.4ポイント減少の△17.2、サービス業がほぼ横ばいの△23.7、小売業が4.1ポイント増加の△35.9となり、小売業においても小幅に好転しました。

来期は、建設業で大幅に悪化、製造業、小売業においても悪化が見込まれるものの、サービス業において好転が予想されています。



製造業の推移

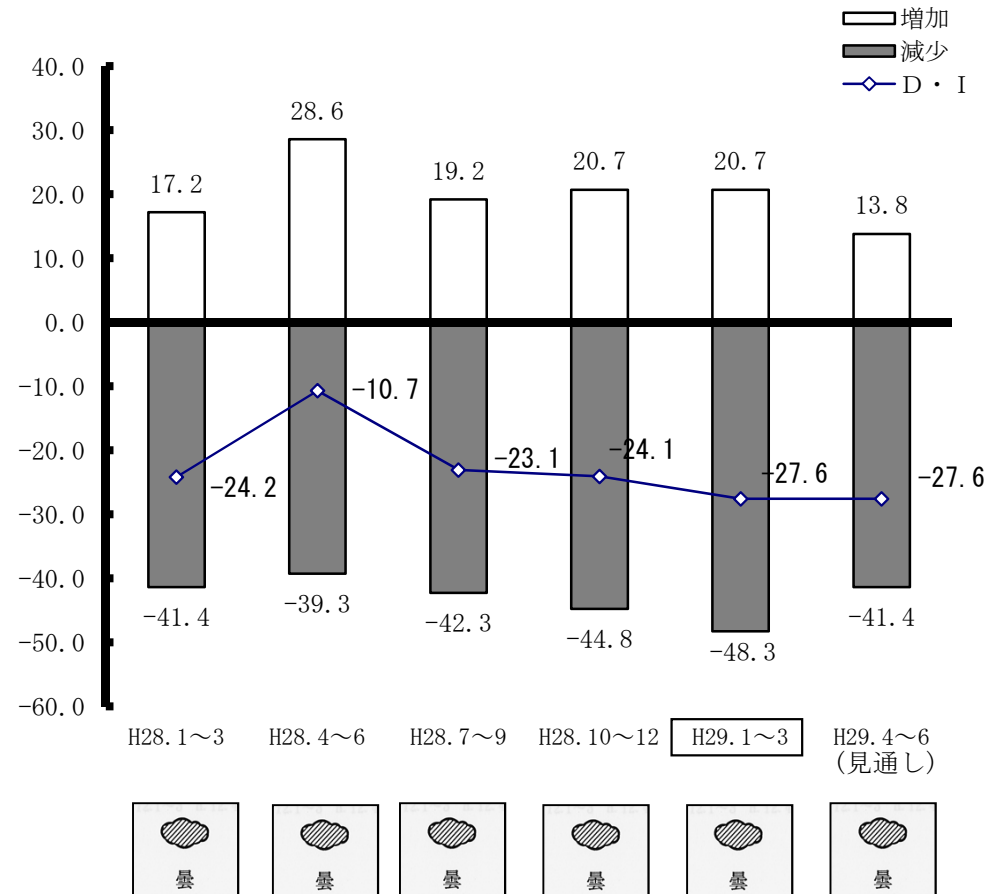
売上高

<今 期> <来期見通し>



今期は、売上高増加企業の割合が横ばいでしたが、売上高減少企業の割合が小幅に増加したことにより、売上高D・Iは3.5ポイント減少の△27.6まで低下しました。

来期は、売上高の増加を予想する企業の割合は減少しますが、売上高の減少を予想する企業の割合も減少するため、売上高D・Iは横ばいとなる見通しです。



製造業の推移

採算

<今 期>

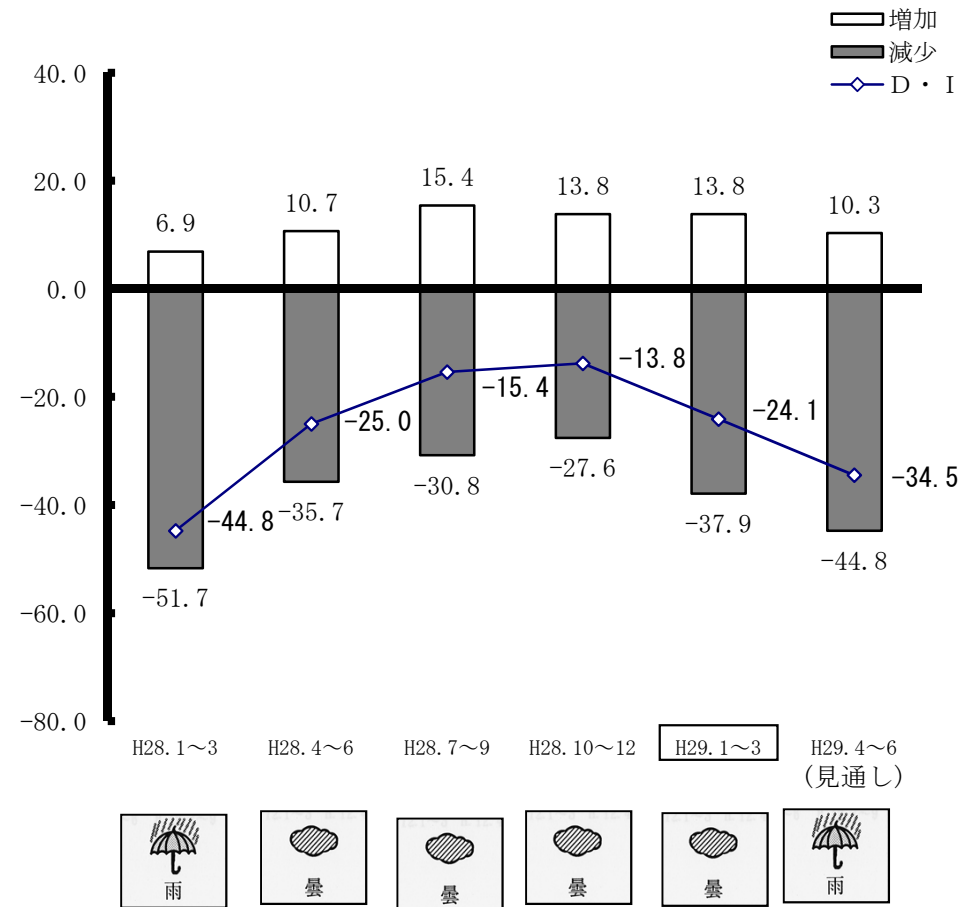


<来期見通し>



今期は、採算が好転した企業の割合が横ばいだったものの、採算が悪化した企業の割合が増加したことから、採算D・Iは10.3ポイント減少し△24.1まで悪化しました。

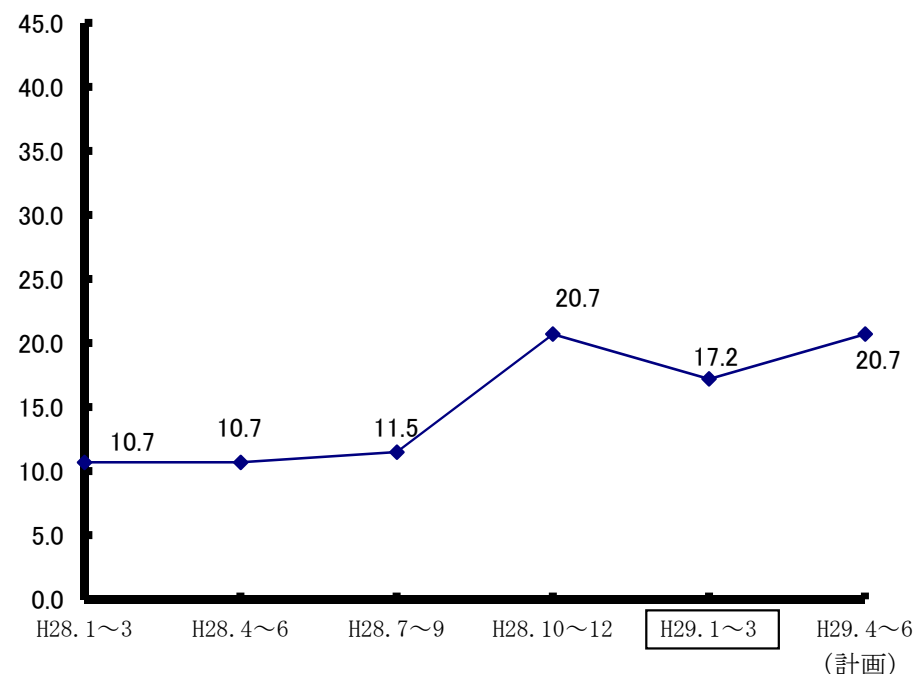
来期の採算D・Iは、採算の好転を予想する企業の割合が減少し、採算の悪化を予想する企業の割合が増加することから、採算D・Iは大幅に悪化し、景況天気図も曇から雨へと変化する見通しです。



設備投資

今期は、設備投資を行う企業は減少し、17.2まで低下しました。

来期は、売上高D・Iは横ばい、採算D・Iは悪化が予想されるものの、設備投資は増加する見通しです。



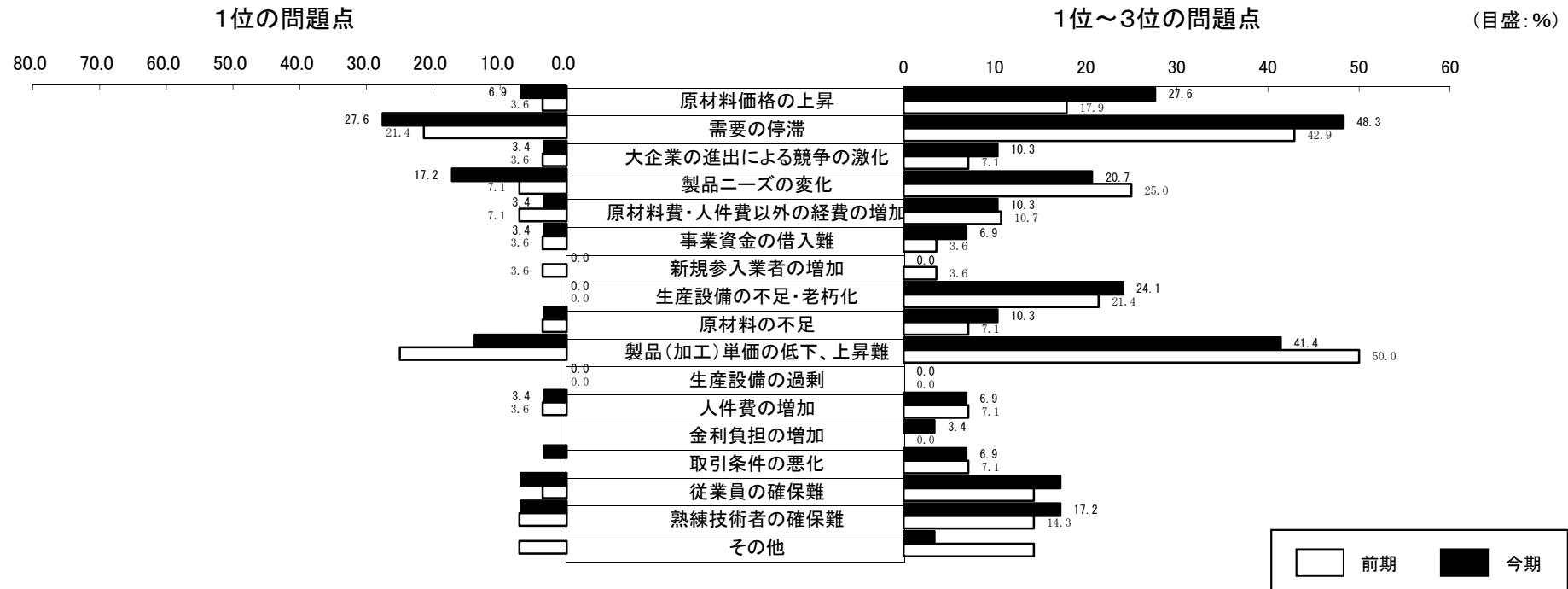
(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

製造業の推移

経営上の問題点

岩手県 製造業

経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)



建設業の推移

売上高

<今 期>



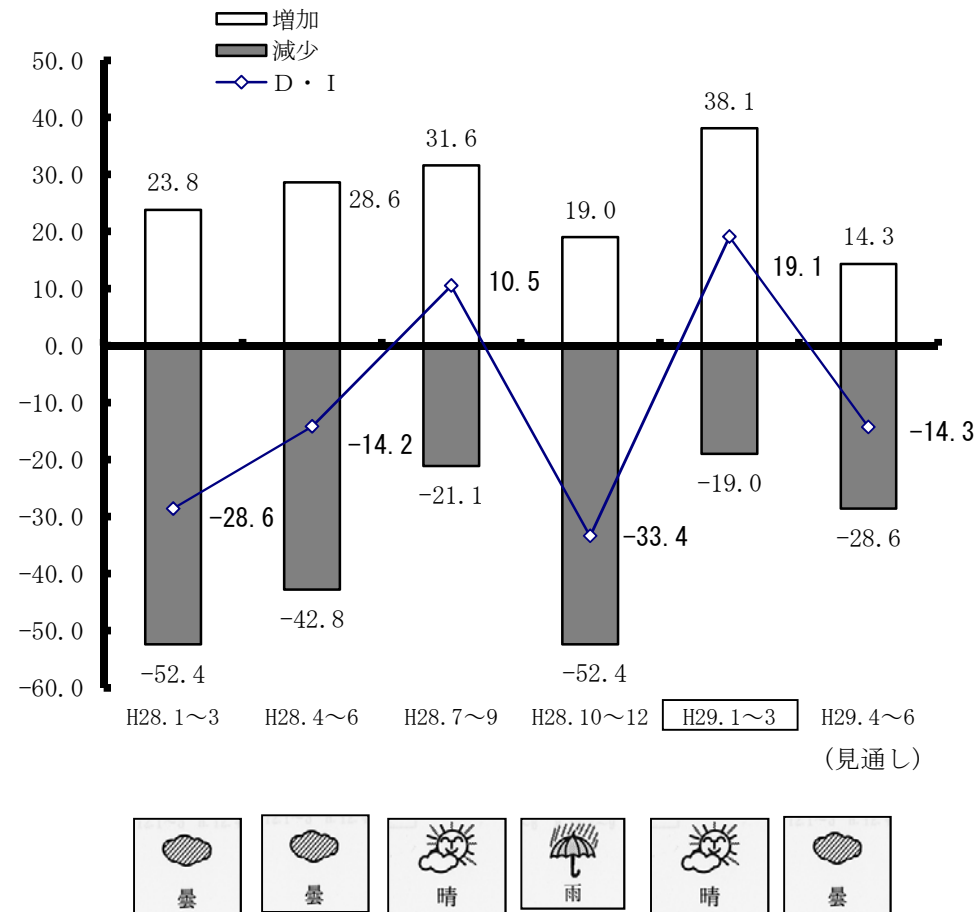
<来期見通し>



今期は、売上高の増加を挙げた企業の割合が大幅に増加し、売上高減少企業の割合も大幅に減少したことから、売上高D・Iは52.5ポイント増加の19.1まで大幅に上昇しました。景況天気図も雨から晴へと変化しています。

来期は、売上高の増加を予想する企業の割合が減少し、売上高の減少を予想する企業の割合が増加することから、売上高D・Iは△14.3まで、低下し、売上高D・Iは再びマイナス領域となる見通しです。

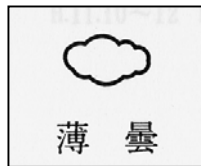
※建設業の売上高は完成工事高



建設業の推移

採算

<今 期>

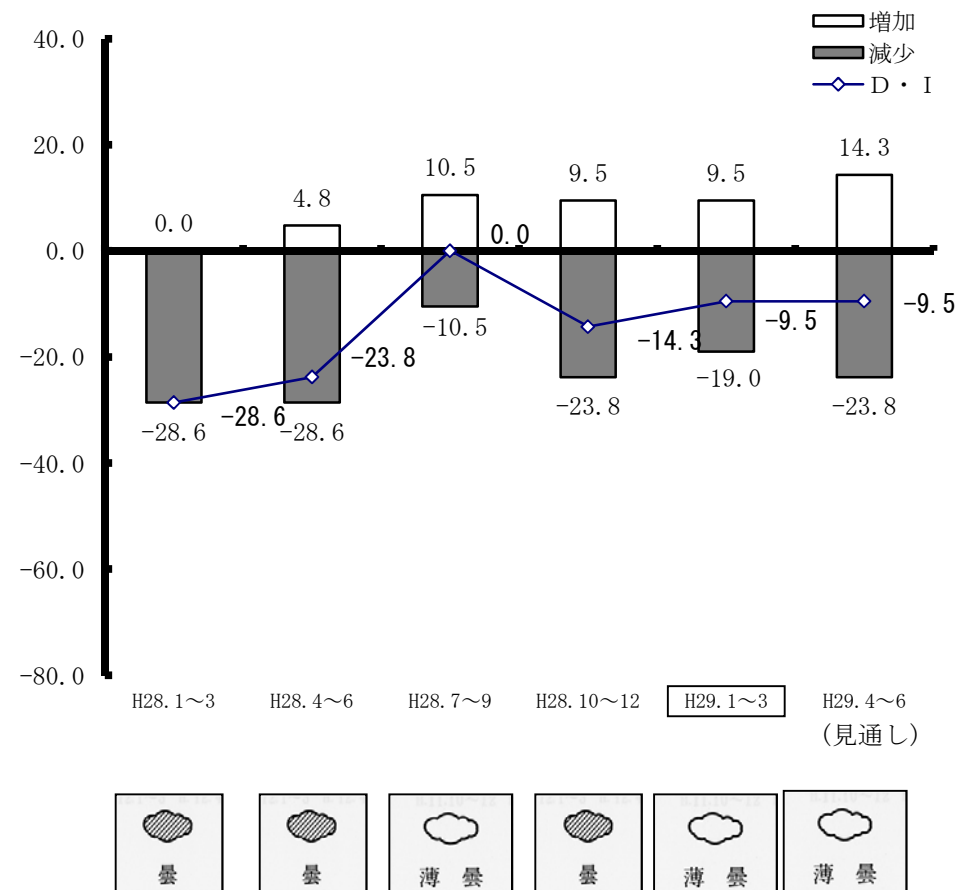


<来期見通し>



今期は、採算の好転を挙げた企業割合は横ばいでしたが、採算が悪化した企業割合が減少したため、採算D・Iは4.8ポイント増加の△9.5まで好転し、景況天気図が曇から薄曇へと変化しました。

来期は、採算の好転を予想する企業割合が増加するものの、採算の悪化を予想する企業割合も増加することから、採算D・Iは横ばいとなる見通しです。



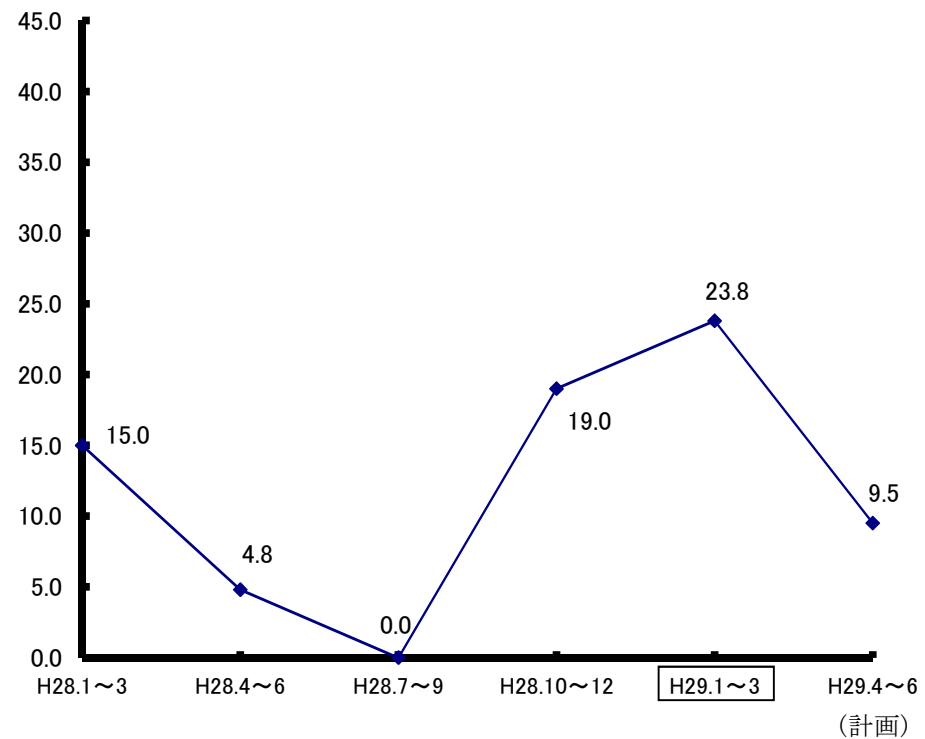
建設業の推移

設備投資

今期、設備投資を実施した企業の割合は2期連続して増加し、23.8となり、直近1年間では最も高い水準となりました。

来期は、設備投資を予定する企業が減少に転じ、9.5まで低下する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

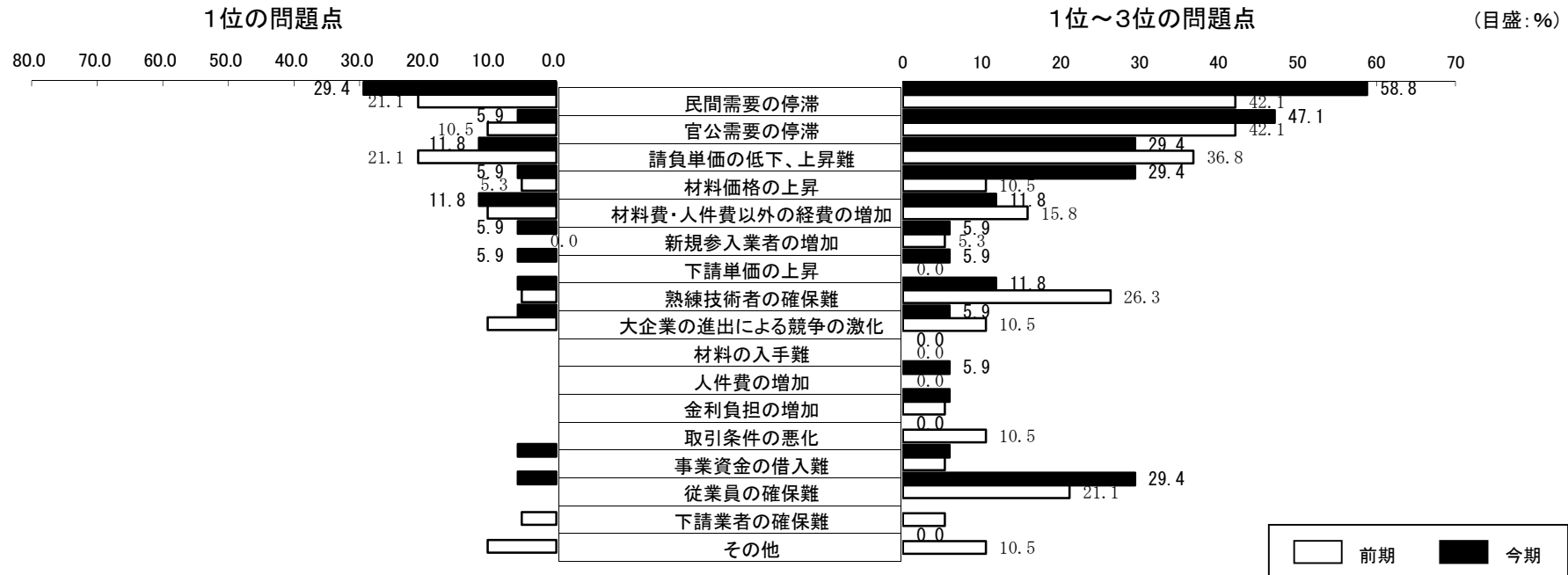


建設業の推移

経営上の問題点

岩手県 建設業

経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)



小 売 業 の 推 移

売 上 高

<今 期>

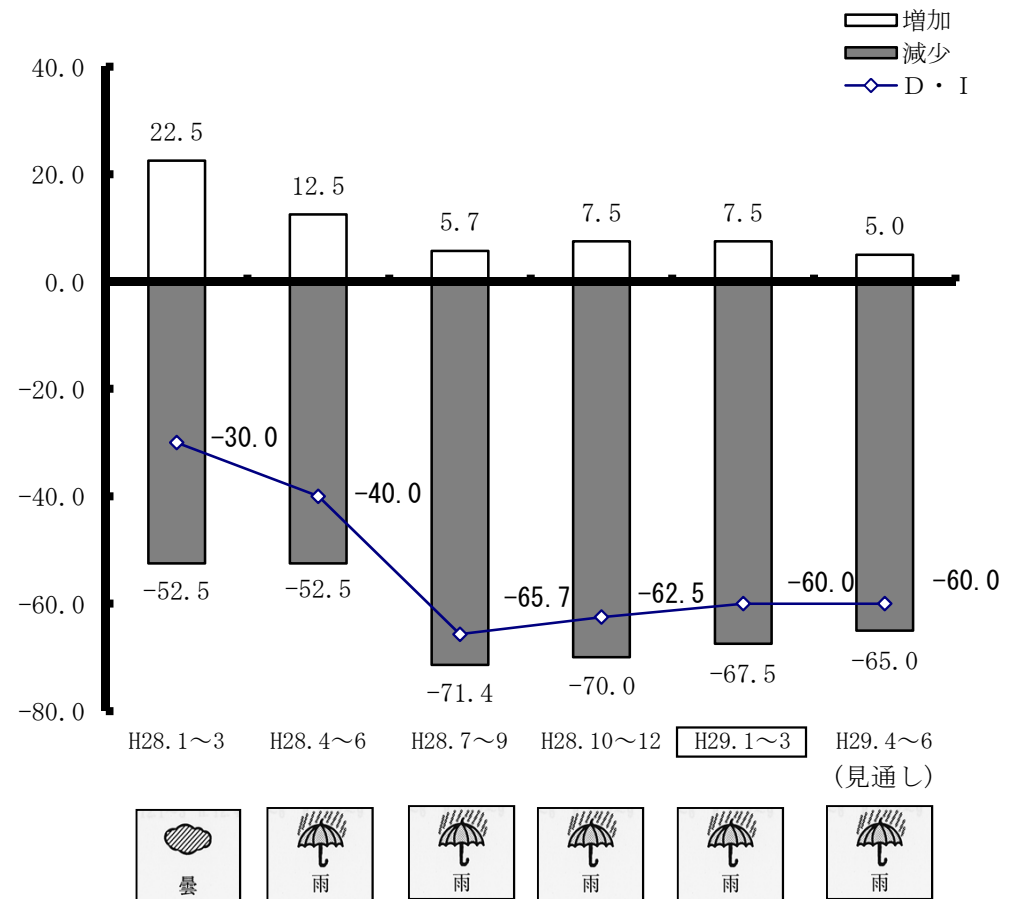


<来期見通し>



今期は、売上高増加企業の割合が横ばいでしたが、売上高減少企業の割合が小幅に減少したことから、売上高D・Iは2.5ポイント増加して△60.0となりました。

来期は、売上高の増加を予想する企業割合が小幅に減少し、売上高の減少を予想する企業も減少するため、売上高D・Iは、横ばいの△60.0となる見通しです。



小 売 業 の 推 移

採 算

<今 期>

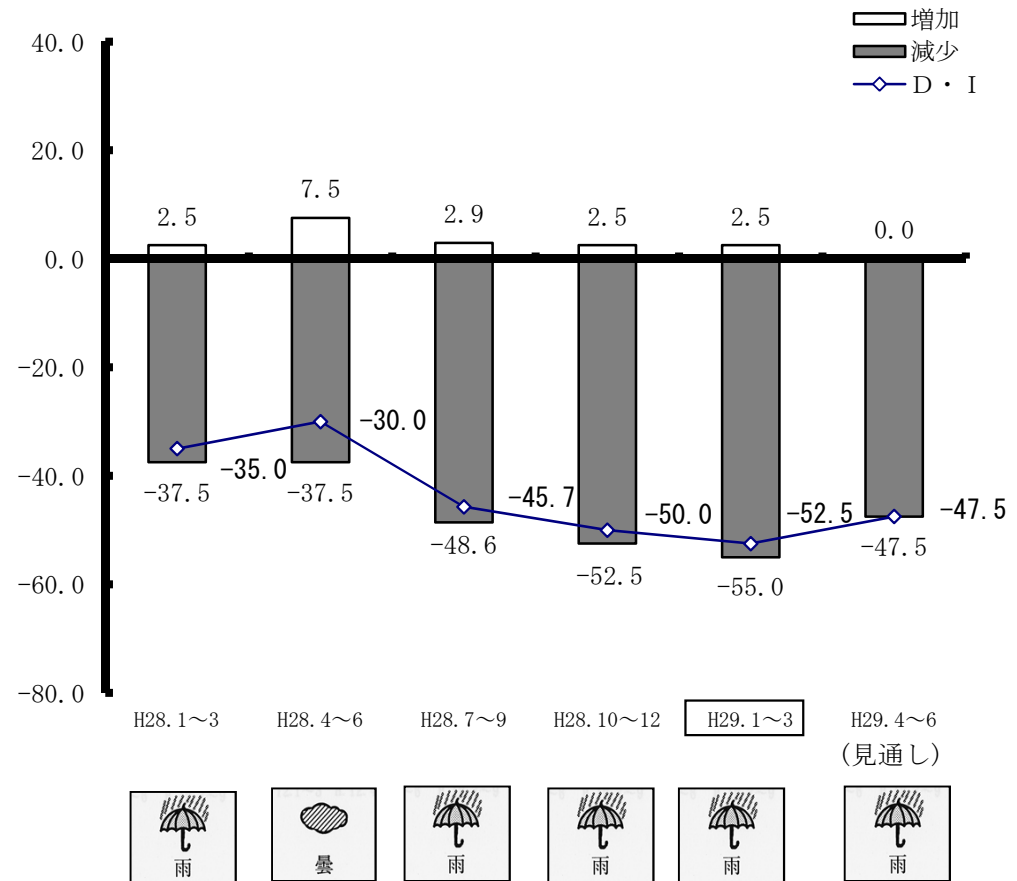


<来期見通し>



今期は、採算が好転した企業割合が横ばいだったものの、採算が悪化した企業割合が増加したため、採算D・Iは2.5ポイント減少して△52.5となり、直近1年間で最も低い水準となりました。

来期は、採算の好転を予想する企業割合は減少するものの、採算の悪化を予想する企業割合も減少することから、採算D・Iは△47.5まで小幅に上昇する見通しです。

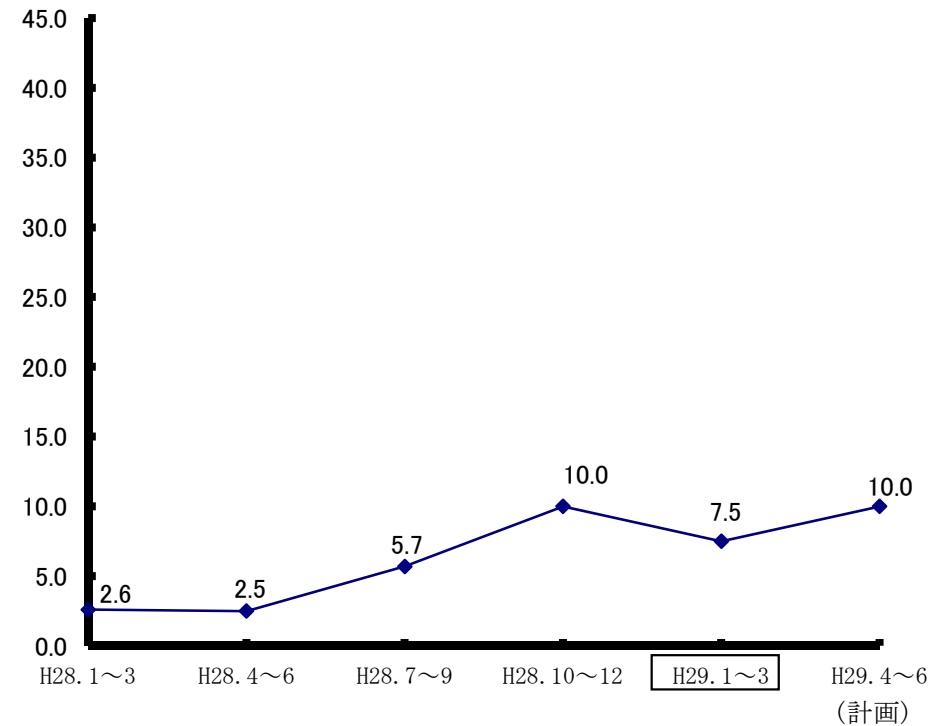


設 備 投 資

今期、設備投資を実施した企業は、前期より2.5ポイント減少して7.5となり、依然として低い水準にあります。

来期は、設備投資を計画している企業が2.5ポイント増加し、10.0まで増加する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

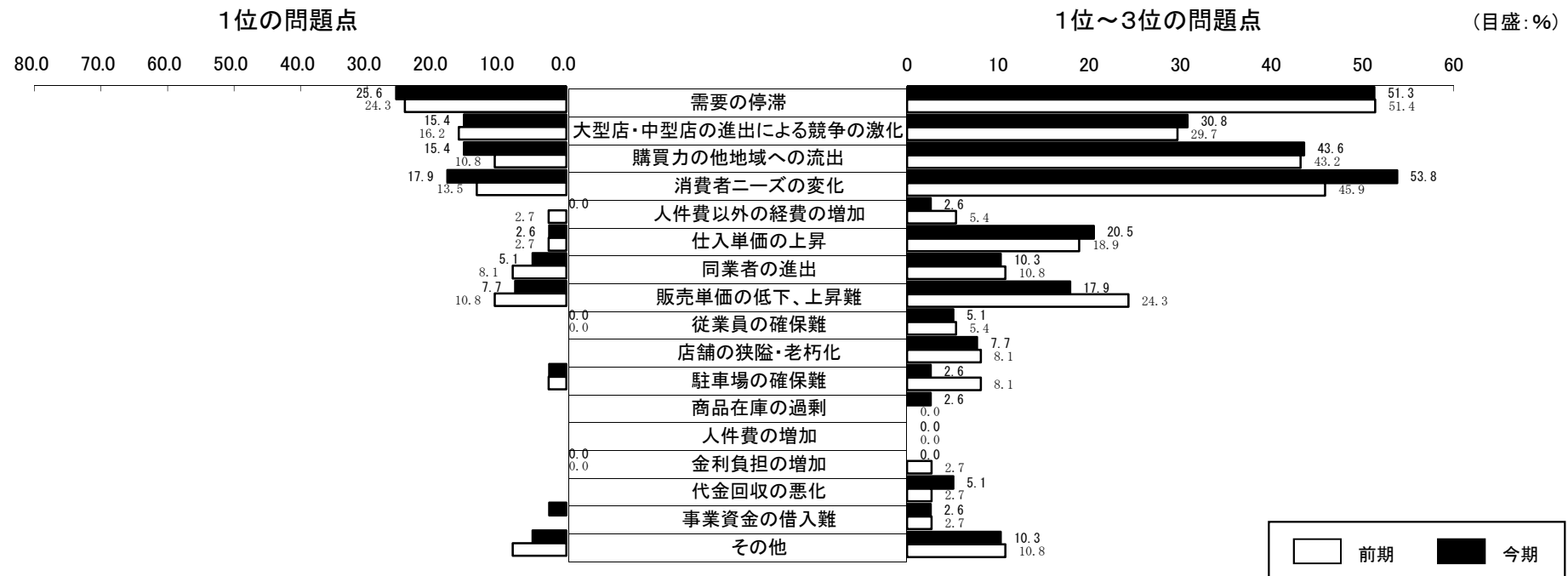


小売業の推移

経営上の問題点

岩手県 小売業

経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)



サービス業の推移

売上高

<今 期>

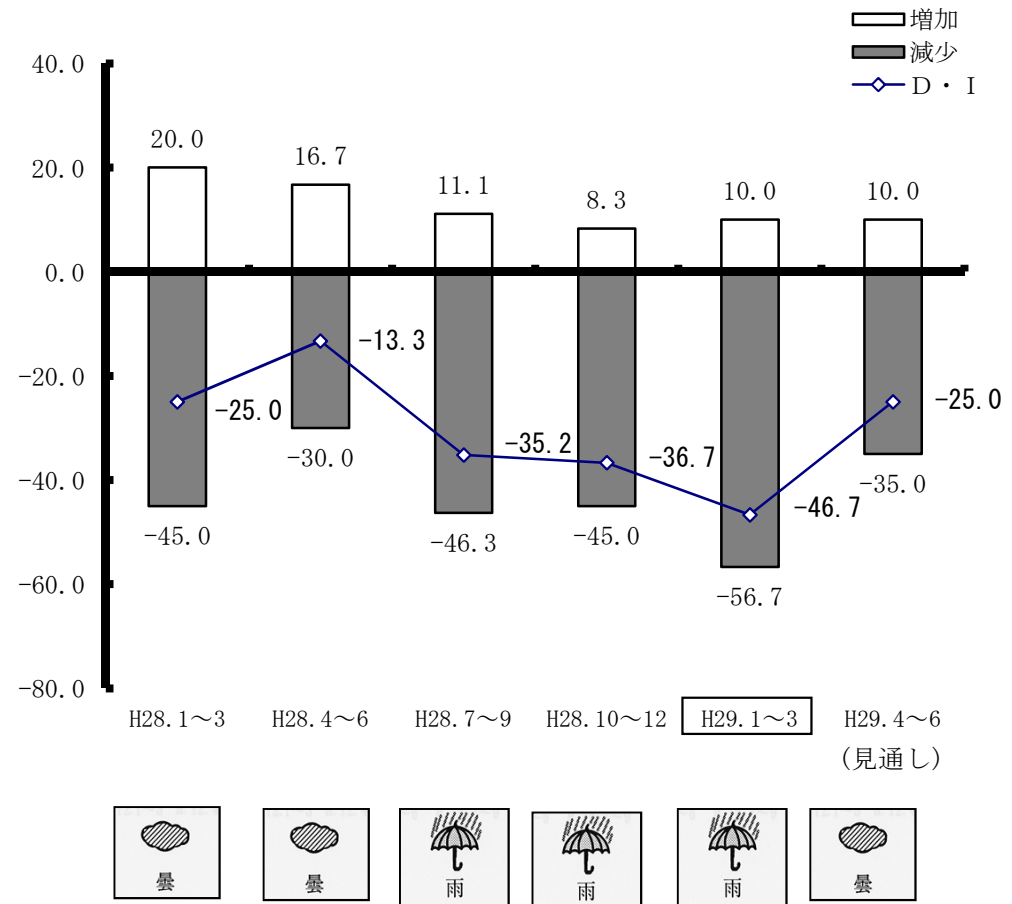


<来期見通し>



今期は、売上高が増加した企業の割合は増加したものの、売上高が減少した企業割合が11.7ポイント増加したため、売上高D・Iは10ポイント減少し、△46.7まで低下しました。

来期は、売上高の増加を予想する企業割合が横ばい、売上の減少を予想する企業割合が減少することから、売上高D・Iは△25.0まで上昇し、景況天気図も雨から曇へと変化する見通



サービス業の推移

採算

<今 期>

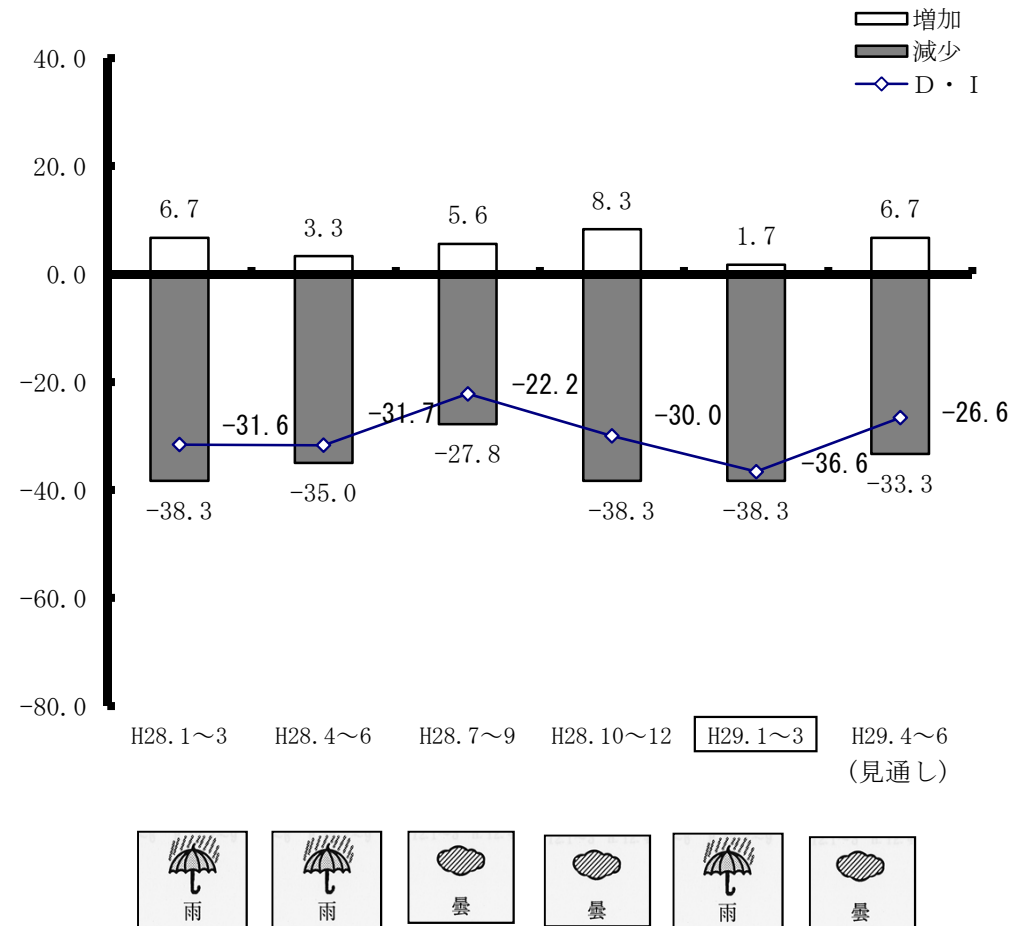


<来期見通し>



今期は、採算が好転した企業の割合が減少し、採算が悪化した企業割合が横ばいであったことから、採算D・Iは6.6ポイント減少の△36.6まで低下し、景況天気図も曇から雨へと変化しました。

来期は、採算の好転を予想する企業割合が増加し、採算の悪化を予想する企業割合が減少することから、採算D・Iは△26.6まで回復する見通しです。

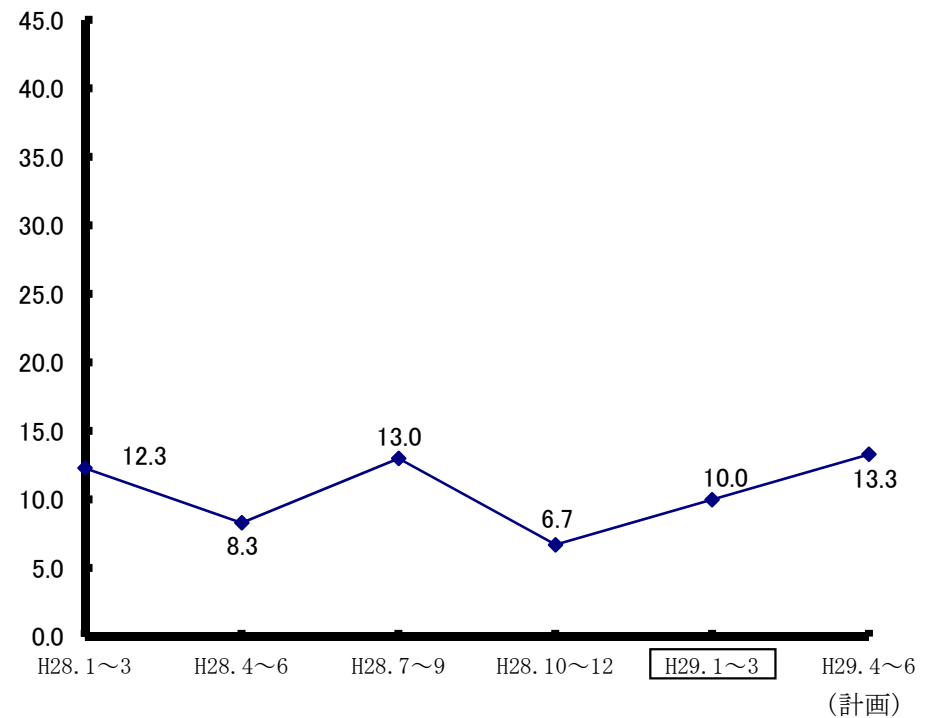


設備投資

今期、設備投資を実施した企業の割合は3.3ポイント増加の10.0となり、増加に転じています。

来期も、引き続き設備投資を実施する企業割合の増加が見込まれ、13.3まで上昇する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



サービス業の推移

経営上の問題点

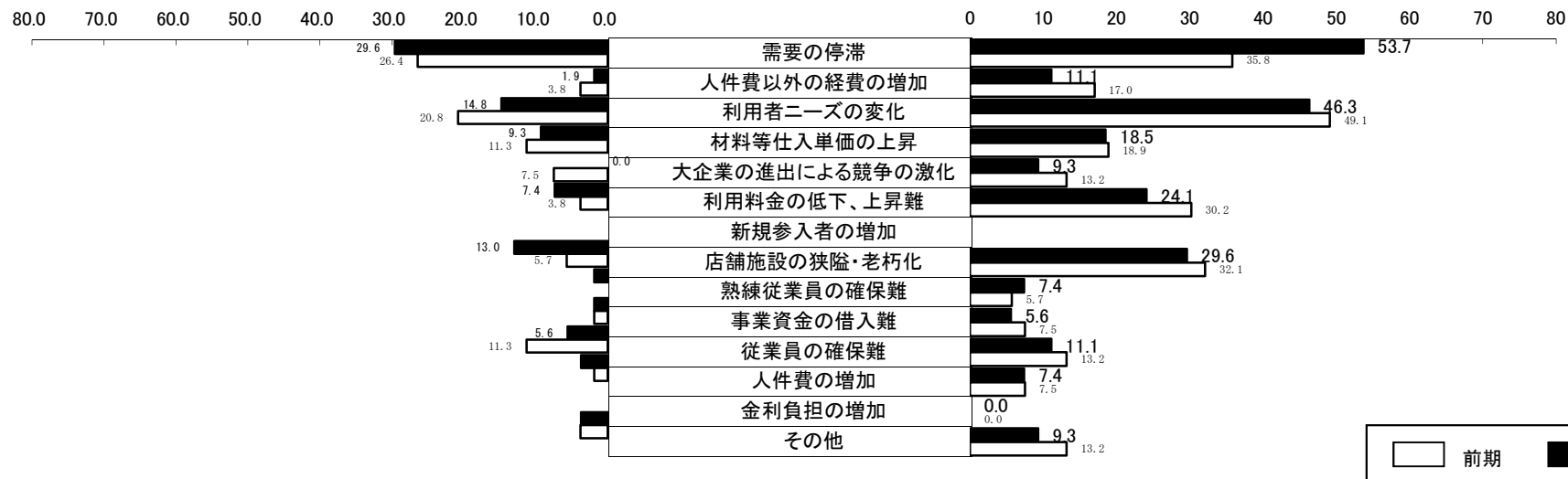
岩手県 サービス業

経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)

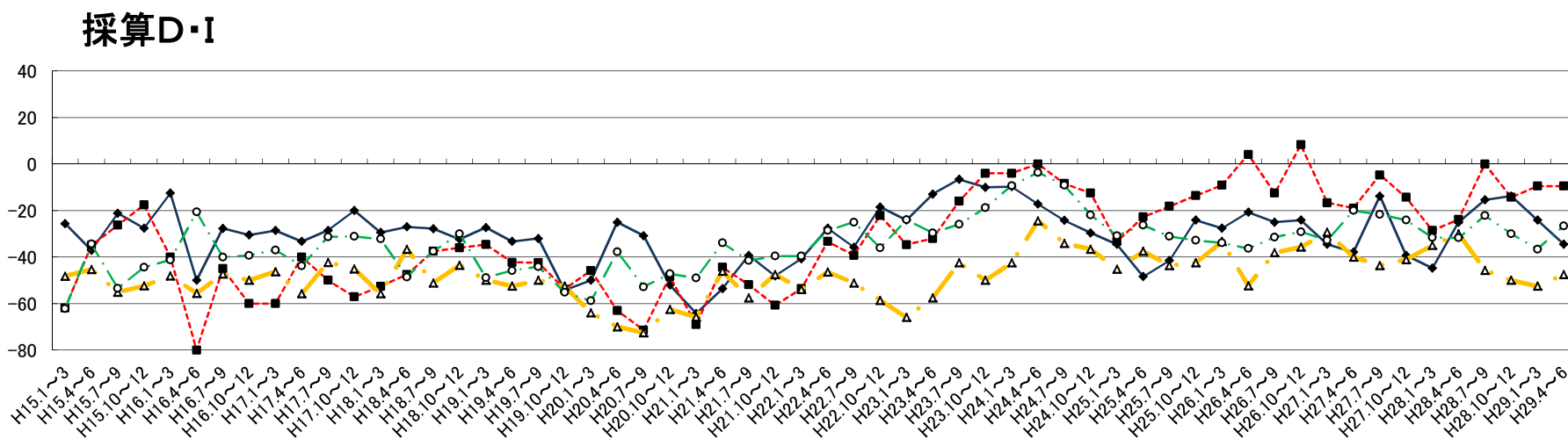
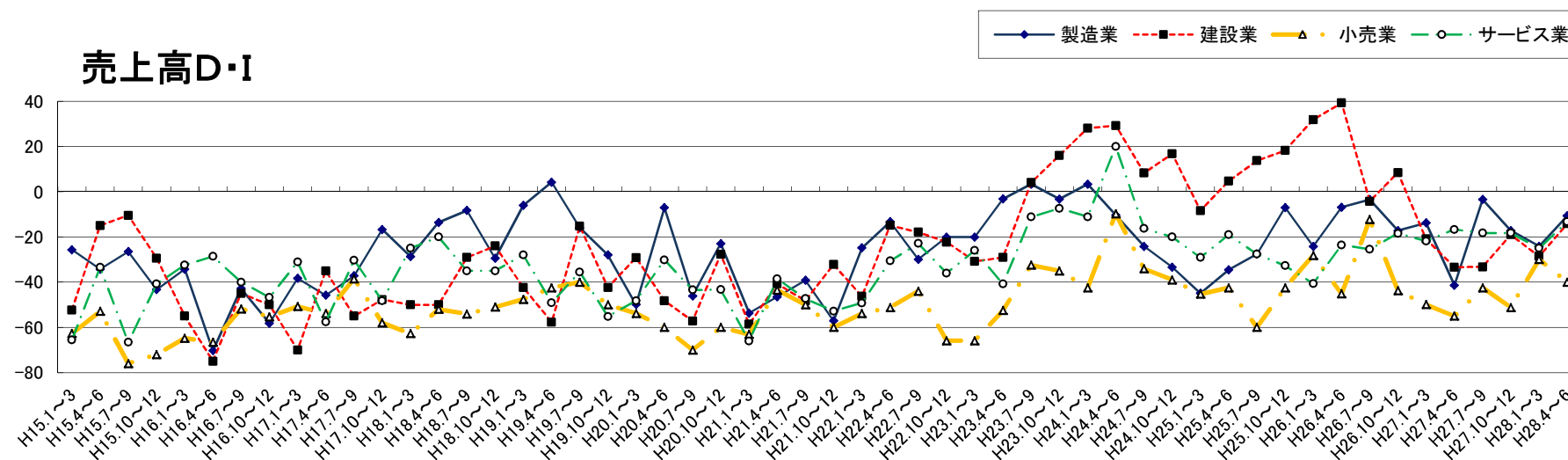
1位の問題点

1位～3位の問題点

(目盛: %)



全産業の過去データの推移(平成15年1月以降)



集 計 資 料

調 査 要 項

1. 調 査 対 象 (1) 対象地区 県内10商工会地区 遠野、陸前高田、二戸市、雫石、葛巻町
(商工会名) 紫波町、金ヶ崎町、岩泉、軽米町、野田村
- (2) 対象企業数 150 企業
- (3) 回答企業数 150 企業
2. 調 査 対 象 期 間 平成29年1月～3月を対象とし、調査時点は平成29年3月1日としました。
3. 調 査 方 法 (1) 商工会の経営指導員が訪問面接し、聞き取りにより行いました。
(2) 調査対象地区の設定は、商工会地区市町村人口規模別の実態を勘案して行い、調査対象事業の抽出は、業種規模等有意選出により行いました。

4. 対象企業等内訳

業種 \ 項目	対 象 企 業 数	回 答 企 業 数	回 答 率 (%)
製造業 (地域産業)	29 (19.3)	29 (19.3)	100.0
建 設 業	21 (14.0)	21 (14.0)	100.0
小 売 業	40 (26.7)	40 (26.7)	100.0
サ ー ビ ス 業	60 (40.0)	60 (40.0)	100.0
	150 (100.0)	150 (100.0)	100.0

(注) カッコ内の数字は、構成比 (%) を表す。

5. そ の 他 本報告書中のD・Iとは、ディフュージョン・インデックス (景気動向指数) の略で、各調査項目についての増加 (上昇、好転、長期化) 企業割合と減少 (低下、悪化、短期化) 企業割合の差を示すものであります。